

## 水切りおよび生ごみ減量方法のアイデア

応募者	岩名一丁目 在住 瀧川 様
応募内容区分	その他
アイデア	余ったごみ袋数枚と、生ごみを堆肥化させるダンボールコンポストキットを交換できるようにする。
ねらい	<p>私のように、生ごみを堆肥化する事に興味がありながらも、初期費用や臭い等を考えるとちゅうちょして始めない人は、大勢いると思います。そこで、余ったごみ袋数枚と、生ごみを堆肥化させるダンボールコンポストキットを交換できるようにすると言うのはどうでしょうか。タダで手に入るのであれば、臭いや虫の発生など気になりながらも、やってみようと思う人は多いと思います。</p> <p>また、堆肥化した土を家庭菜園に使用するため、プランターや植物の種苗等と余ったごみ袋の交換ができれば、ガーデニングに興味がある人は、ごみ袋を余らそうと努力するのではないのでしょうか。</p> <p>ごみ袋を多く余らせることに成功すれば、将来的にごみ袋の配布量を減らすことも可能になると思います。</p>

## 水切りおよび生ごみ減量方法のアイデア

応募者	目 吹 在住 瀬谷 様
応募内容区分	その他
アイデア	生ごみを減らす為、堆肥を作る容器を配布する。
ねらい	生ごみの減少

## 水切りおよび生ごみ減量方法のアイデア

応募者	宮崎 在住 竹内 様
応募内容区分	その他
アイデア	<p>1. プレミアム付商品券やふるさと納税など、野田市にかかわる支払やお金が発生するものの特典に家庭用の生ごみ処理機購入時の割引や故障した際の修理、買い替えの割引などを取り入れる。</p> <p>2. 県内の他の市町村との差別化として、市内と市外では上記の特典の割引率を変える。家庭用の生ごみ処理機に「魅力を感じる方には、環境問題や健康への意識の高さがあると予想されるため、野田市の農業（また医療や福祉など）への取り組みも視野にパンフレットなども添付する。（農地貸与など）ただし、添付するだけでなく、アンケートにも回答をお願いし、市民や野田市に興味を持つ人々が何を求めているか把握する。</p>
ねらい	<p>注目ワードとしてのプレミアム付商品券やふるさと納税という単語を使用することで、より関心を持ってもらうことがねらい。また、その単語を検索した際にネットなどの関連項目に上がれば多くの人に見てもらえるチャンスにもなる。一つのことに対して一つの成果ではなく、一つのことから二つ三つと派生する成果、その波及効果を得ることが、野田市の活性化にも繋がる。</p>

## 水切りおよび生ごみ減量方法のアイデア

応募者	目 吹 在住 高木 様
応募内容区分	その他
アイデア	<p>1. 現状の資源ごみで回収できる物の明確化をして可燃ごみ・不燃ごみを総合的に減らす。資源ごみの紙類で回収できる「雑紙（ざつがみ）」についての詳細をホームページで記載・市報等で通知する。</p> <p>2. 詳細は下記の内容の記載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お菓子の紙の箱・ティッシュの箱・コピー用紙・包装紙・ポスター・カレンダー・紙袋・封筒・手紙</li> <li>・紙類が減ることにより可燃ごみの量が減ると同時にリサイクル活動の活発化</li> <li>・ビニール類でリサイクルできる物の資源ごみ回収を同時にする。</li> <li>・生ごみの減量、三角コーナーにある生ごみに砂糖をかけることにより水分を自然に絞り出し減量に心掛ける。</li> </ul>
ねらい	<p>現状の資源ごみで回収できる物の明確化をして可燃ごみ・不燃ごみを総合的に減らしていく。資源ごみの紙類で回収できる「雑紙（ざつがみ）」についての詳細をホームページで記載・市報等で通知する。</p> <p>詳細は、次の内容の記載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お菓子の紙の箱・ティッシュの箱・コピー用紙・包装紙・ポスター・カレンダー・紙袋・封筒・手紙</li> </ul> <p>リサイクル活動の活発な市町村ではしっかりと書かれているのが現状。紙類が減ることにより可燃ごみの量が減ると同時にリサイクル活動の活発化を試みる。ビニール類でリサイクルできる物を資源回収と同時に行うことで沢山のごみを減らすことができる。生ごみの減量について三角コーナー内で砂糖をかけて水分を出すことについては、砂糖は可燃で燃やしたときに炭になるが塩は可燃で燃やすのに 900 度と高温でなくては燃やすことができないため。水分を出すのは砂糖より塩のほうが効率がいいが、燃やす時に高温ではないと炭にならないのが難点。上記の内容を市民、全体で行えば減量の幅は大きいと思います。</p>

## 水切りおよび生ごみ減量方法のアイデア

応募者	東京都練馬区 在住 (名前) 不明
応募内容区分	その他
アイデア	スーパー等に生ごみ肥料化装置を置く。
ねらい	

## 水切りおよび生ごみ減量方法のアイデア

応募者	木野崎 在住 橋本 様
応募内容区分	その他
アイデア	<p>「指定ごみ袋無料引換券」からの世帯人数ごとのごみ袋サイズの見直し</p> <p>現在世帯の人数によって「ごみ袋サイズと配布枚数」が決められていますが、配布枚数の20L、30L、40Lの大きさを各家庭で選別して引き換えられるよう弾力的にする。</p> <p>また、少子化対策として、もう少し小さめの10L用等も必要と感ずます。</p> <p>ごみ排出に際して、週2回の生ごみ指定袋を満タンにして排出するだけのエネルギーもないでしょうし、ヨイショヨイショとごみ収集ステーションへ持ち込みも心労ですし、ごみ袋に1/3位で搬出するとごみ袋が年間枚数で不足するので、どうしても次回分を入れて搬出する事が多いのが現状です。</p> <p>したがって、中身のごみが腐敗し、更なる悪循環となっています。</p>
ねらい	<p>「指定ごみ袋無料引換券」世帯の人数による「リットル」による配布袋は各家庭で選別してランダムに引き換えられるように改める。</p> <p>また、現行20Lが最小サイズであります。更に小サイズの袋を準備する事と年間枚数も現状の利用実態に併せて見直しをするようにする事で、腐敗したごみや水分を含んだ生ごみも減少し、更にごみ搬出量の平準化が計られる事となる。</p>

## 水切りおよび生ごみ減量方法のアイデア

応募者	木野崎 在住 橋本 様
応募内容区分	その他
アイデア	<p>○「コンポストを活用した堆肥化にチャレンジ」</p> <p>現在販売されている「コンポスト」は自宅の庭に常設するには大きすぎるので、小型化された「コンポスト」を低廉化で頒布するようにする。</p> <p>現在販売されている「コンポスト」は一万円以上するし、補助金制度を利用してもチョイと「生ごみ」を搬出するのに、そこまでしなくても、指定ごみ袋で出せば無料であるので特段の減量工夫もなく搬出してしまっているのが現状であるので、生ごみ減量化への啓蒙運動の一環にもなります。</p> <p>「コンポスト」を各家庭に常備する事で通常ごみ出しも無くなり、家庭菜園への呼びかけ等啓蒙を実施されれば、ごみの収集量も減量し、一石二鳥ではないでしょうか。</p> <p>また、「コンポスト」を購入する際に「無料指定ごみ袋引換券」の枚数分の一部を充当する等して生ごみ減量化利用促進に役立ててはいかがでしょうか。</p>
ねらい	<p>無料指定ごみ袋による「ごみ搬出量」が大幅に減量される事とごみ引換枚数の基準配布枚数の減少につながっていくことになる。</p> <p>「コンポスト」で堆肥化された堆肥を専門とする収集センターへの搬入事業を拡大する事が可能となる。</p>

## 水切りおよび生ごみ減量方法のアイデア

応募者	みずき二丁目 在住 今平 様
応募内容区分	その他
アイデア	<p>野田市として生ごみの減量目標を設定して欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状生ごみ処理 〇〇〇トン/年</li> <li>・減量目標値 〇〇トン/年（〇〇%減を目指す）</li> </ul> <p>&lt;具体的な方策&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 可燃ごみと生ごみを（各家庭にて）仕分 →             <ul style="list-style-type: none"> <li>①可燃ごみ従来通り回収ルート → 焼却炉</li> <li>②生ごみ専用回収ルート → 堆肥処理所 → 堆肥として農家、家庭菜園に販売</li> </ul> </li> <li>2. 市内全体のゴミ減量化のためのアイデアの取り込みと生ごみ処理機の斡旋による減量化。</li> <li>3. 減量化目標達成を見込み「削減費用」を市民への生ごみ専用回収バケツの配布と生ごみ処理機の助成する（購入費の2/3を市で助成する）。</li> </ol>
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民は、現状生ごみの処分量が分からないし、現状の処分量と減量目標を設定することで削減費用も明確になり、「達成させるための方策」を市民から求める。</li> <li>・ゴミ処理はコストの高い市職員でなく、民間業者の入札で決めコスト削減を図る。</li> </ul>



## 水切りおよび生ごみ減量方法のアイデア

応募者	堤台在住 松島様
応募内容区分	その他
アイデア	<p>”ごみ減量30%”のスローガン以前より生ごみを焼却炉で燃やすことに疑問をもつ者として提案するものです。なおわが家は家庭菜園（自宅より0.4キロ）を行っており、長年生ごみは排出しておりません。</p> <p>生ごみ堆肥化の論議が必ずつまづくのは、「土に戻したものを即堆肥にする」考えにあるようです。しかも、その利用者を本職（農家）に絞っている点にあります。しかし、純度の高い堆肥を求める農家にとって、一般家庭から出る生ごみについて「塩分などの成分」や「生ごみ以外の異物混入」に神経質になるのは当然といえます。</p> <p>また、生ごみの即堆肥化論は、厄介な生ごみの回収作業から始まって、大がかりな集中処理施設の建設・管理、そして堆肥土の処理（販売等）方法へと、大きなシステム論につながります。これではいつまでたっても先に進みません。</p> <p>根本的な生ごみ対策は、土に戻すことにあり、これが自然なあり方であることは、誰もが認めることと思います。改めて、この原点に立ち返り、「生ごみは即堆肥に」という考えを転換する必要があります。</p> <p>要は、生ごみの排出を減らすことにあるので、ポイントは次の3点になります。</p> <p>①市民がそれぞれの方法で、まず土に戻す（ここでは、あえて「再生土」と称します）</p> <p>②再生土は、市民ができるだけ自己処理するが、市も協力する。市が回収する上でも生ごみより土の方がはるかに容易です。</p> <p>③市は、一定の土地を確保し、回収した再生土を集積する。</p> <p>以下は、上記の考えに沿っての具体的な提案です。</p> <p>1. 再生土を作る。</p> <p style="padding-left: 20px;">A 家庭菜園がある場合</p> <p style="padding-left: 40px;">ここでは、生ごみの臭いが許容される畑地を想定しています。ここでは、生ごみ置き場というより雑草や野菜の外葉などの堆積場であり、生ごみは腐敗促進剤に成る</p>

## 水切りおよび生ごみ減量方法のアイデア

といえます。再生土は、即自家用堆肥となります。異物があっても自宅の物ですから文句の言いようがありません。

1) 菜園が自宅から離れている場合は、面倒ですが、運搬専用の容器で運ぶこととなります。この容器は、匂いや水分が漏れないようなしっかり蓋のできるものを選びます。これも二個あると運搬のタイミングに余裕が持てます。日頃菜園に運ぶこの面倒な習慣が、要となると言えます。

2) 二枘の穴を掘ります。沢山の雑草等を堆積するので枘は円形より直方形が一般的でしょう。サイズは地所の広さや立地条件によりますが、深さは40cm（ブロック2段程度）が最適のようです。これ以上深いと堆肥として掘り出す際に力が必要です。

3) 蓋はシートで十分です。生ごみを猫やカラスなどが常時狙っていますから、雑草類の下に入れ、隙間のないようにシートに重石を乗せます。内部が密閉されることで、発生熱が逃げず腐敗も促進されます。

4) 市が家庭菜園を奨励することは、生ごみ排出抑制にリンクすることとなります。

### B 家庭菜園がない場合

市販のコンポストの購入は、市から助成金が出てお勧めですが、サイズを選びたいのなら、たとえば、蓋つきのゴミ箱の底を切り取りとるとコンポストになります。蓋の密閉性は円筒形の方が良く、直方形の方は、長年使用していると角部分の閉まりが悪くなります。サイズは、置き場所や家族数に応じて決めます。

1) 2個セットとし、片方が満杯になったら次に入れます。後の方が満杯になる頃には、前の方は、ほとんど土になっているはずです。

2) 箱の深さにもよりますが、10cmから20cm程度の穴を掘り、その上に箱を載せます。地下の側面からごみの水分が早く滲み出ますし、容積も掘った穴の分だけ増えることとなります。

3) ときどき一握りの糠を撒けば、発熱作用により腐敗が早まります。

4) プラスチック容器は、日光によって劣化が早いので、

## 水切りおよび生ごみ減量方法のアイデア

	<p>上に板かシートを載せることを勧めます。</p> <p>2. 再生土を処理する ～家庭菜園がない場合</p> <p>1) 庭にスペースがあれば、そこに貯めて、花や野菜の堆肥に使えます。</p> <p>2) 自家処理できなければ、市に回収してもらいます。</p> <p>3. 市による再生土の回収</p> <p>市は、出された土を回収し、一定の場所に集積します。集積場所の確保や回収に費用はかかりますが、生ごみの回収・運搬と焼却炉で水分を飛ばす費用と天秤にかければ、長期的には相当な効果が期待できるはずです。しかし、この施策は、大きな事業となるので一定地域（住宅団地）を対象としたモデル事業としてスタートすることになりましょうか。</p> <p>1) 再生土は、所定の土のう袋に入れることとし、回収の効率を考え、一定容積以上とします。回収時に担当者は念のため土の状態を目視します。</p> <p>2) 土のう袋と回収は、無料配布とします。</p> <p>3) 選定枝と同じく、市に回収依頼の電話を入れ、自宅前に出します。</p> <p>おおざっぱに推測するところ、1世帯（2～3人）当たり年平均3回程度の回収となるでしょうか。</p> <p>4. 再生土集積場所の管理</p> <p>再生土はもはや生ごみほどの臭いが出ないので、集積場所の管理は立ち入り禁止程度で済むものと考えます。もちろん周辺住民の理解が条件となります。</p> <p>5. 再生土の利用</p> <p>集積された再生土は時を経るほど堆肥度が高まります。</p> <p>1) 数年、集積した再生土は、その状態により、ふるいに掛ける等して異物を除去すれば、需要が高まります。品質によっては、有料化も可能となります。</p> <p>2) 希望者には、だれにでも譲ることにします。</p> <p>3) 宅地造成する開発企業に、庭地にこの集積土を敷いてもらうのが最適です。造成地によっては花や野菜作りに不向きな土壌が使われているようです。花壇作りに土壌を改良したい市民も喜んで使うはずです。</p>
ねらい	

## 水切りおよび生ごみ減量方法のアイデア

応募者	宮崎 在住 堀江 様
応募内容区分	その他
アイデア	<p>「生ごみ・ポリ・プラ等の減量化」</p> <p>ごみ減量化を行うためには、第一に市民から協力を得る為の説明が不足していると思います。何故、減量する必要がありますのか？市長が先頭に立って「やる気」を市民に訴える。各自治会の会長及び役員や住民に訴える。関係部局長さんや市会議員の方々にも同様に。</p> <p>とにかく、市民に窮状を説明し、必要性和協力を丁重にお願いすることが先決です。</p> <p>私は、生ごみの減量には堆肥化が最善の方法だと考えております。どのような方法でも課題は残ります。堆肥化が一番お金がかかります。</p> <p>1. 「生ごみ」の堆肥化、総て堆肥センター行き</p> <p>堆肥センター → 熱風による乾燥</p> <p>含水量を 20～30%位まで落とし、枝葉と混合、熟成堆肥化を図る。</p> <p>●乾燥 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金網（5～10 mm目）巾 4.0m×長さ 10～20mの上を踊りながら流れる方式</li> <li>・ドーム（径 1.0～1.5m×長さ 10～20m）を踊りながら流れる方式（回転）</li> <li>・熱風 60～80℃位か？</li> </ul> <p>●費用 — 数億円か？ — 軒当たり、5,000 円（年 1,000 円×5 年）協力金として</p> <p>●収集 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラ桶（各自、氏名を入れて）</li> <li>・生分解性ポリ袋を各自に配布（週に1～2回収集） （両方とも粉砕機にかけてから乾燥）</li> </ul> <p>●塩分除去 — 枝葉と混ぜ増量減塩</p> <p>●小家庭園の「茎葉」（トマト・ナス他多種）の堆肥化</p> <p>現在、堆肥センターの堆肥は、雑草が生えるので使わないという方（農家）の声を聞きます。雑草の種子を 95℃</p>

## 水切りおよび生ごみ減量方法のアイデア

以上の処理で殺すことが野菜茎葉の病菌（ウィルス）を死滅させらると思いますので堆肥化ができる。20～30 cmの長さで、4～5日乾かしてから出す。上記のドラム型、又は100℃のスチーム処理など。

### 2. 生ごみの減量化

- ・「水切り」—ネット袋に入れて圧縮

ネット袋に入れて、シンクに一晩置き、朝一で、体重をかけ圧縮、ポリ袋、ゴミ袋へ。

私の知っている方では、約2割います。（水切りをしていない方）何故水を切らないのと聞きますと、シンクの目詰まりと汚いからと答えます。

- ・古い洗濯機を利用した脱水（事実上不可能）

野菜・果物・魚肉類・スープ・みそ汁・残飯他多数に含まれる含水量はほぼ70～80%に達すること确实です。（可燃ゴミの成分では、50%かもしれません）

- ・天日乾燥

プラ網・プラ箆・竹製平箆他を利用した天日乾燥

高温期は早く乾くが、低温期は2週間位を要します。（高温期は銀バエ集まり不衛生的）

### 3. 「可燃ゴミ」の中の紙類は資源として（月1回）出すよう徹底を図る。

小さい紙類は、紙製手さげ袋に詰めて資源収集日に出すよう各自治会に再要請する。「牛乳やジュース」パック（200ml）も同様です。

シュレッダーにかけた紙片は、透明なポリ袋に入れて資源として出す。ポリ袋は、市民の申請要請により配布する。

### 4. 「不燃ゴミ」の中の「ポリ・プラ類」は透明のポリ袋（40～90L）に入れ、月に1～2回市の収集車で再生業者に届けるか又は再生業者に収集して頂くことができます（私は、以前極小事業所で、2～3年やっていた事があります）。

◎とにかく、市のリサイクルセンターや清掃センターに「持ち込まない、持ち込ませない」ことです。持ち込めば一人当たりのゴミ量が増えます。

◎「事業所系ごみ」も一般市民と同じ扱いとする。（工場、食

## 水切りおよび生ごみ減量方法のアイデア

	<p>堂、レストラン他) 「生ごみ」の堆肥化による減量化 お金がかかりますが、最善の方法だと考えます。長い目で見るべきだと思います。</p>
ねらい	<p>50~60%の減量が図れると思います。勿論「生ごみ」だけでなく、お送り申し上げました「3」「4」(事業所系ごみ)を含めてです。これらを実現する為には、市民の協力と完全な分別化が欠かせません。幼稚園・小学校などで時間を見つけて分別の仕方を子供達に教えるべきです。</p>

## 水切りおよび生ごみ減量方法のアイデア

応募者	野田 在住 西村 様
応募内容区分	その他
アイデア	<p>生ごみの水分を減らすには、生ごみを極限まで絞って処分すれば、考えられますが、その絞り出した汚水を全市的に流しに捨てたらその行方の川、そして大地に届きます。生ごみを燃やすには莫大な経費がかかるのでしょうが、次世代に出来るだけ良い水を残すためにも、これ以上水源を汚すことは出来ません。生ごみを圧縮して出た汚水は、ごみを燃やした熱で乾かしてしまうというような事は、出来ないでしょうか。</p> <p>鍋に残ったもの、汚れた鍋、また、水源を汚してしまいそうなものは、不要紙に浸み込ませ拭き取り等のささやかな工夫をせめてもと思ってやっていますが、市としての苦勞、苦惱のほども思いつつ、アイデアともいえぬ事を一言述べました。</p>
ねらい	<p>現代の私たちの暮らしの中では、恐ろしいほどの水源汚染について、思いを致しております。何とか良い方法が生まれ出ることを祈っています。</p>